



# きっずるーむだより

第 50 号  
令和 6 年 12 月 10 日発行  
社会福祉法人ゆうゆう  
きっずるーむ県庁別館



今年も残り一か月となりました。寒さも少しずつ厳しくなってきました。そんな中でも子どもたちは元気いっぱい過ごしています。甲府駅北口の芝生広場に散歩に行くと、色とりどりの落ち葉が落ちていました。子どもたちはお気に入りの落ち葉を見つけたり、両手ですくい上げて落としてみたりして、この時期ならではの自然遊びを楽しみました。



## 絵合わせ



きっずるーむには「はらぺこあおむし」の絵本と、絵本に出てくる食べ物のフェルト紐通しがあります。

A 君(2 歳 4 ヶ月)は「はらぺこあおむし」の絵本を見ながら、絵と同じフェルトを絵本の上に置いていました。自分で遊びを見つけられる A 君です。

## A 君から見た発達

2 歳から 3 歳頃にかけて赤、青、黄色などはっきりした色の区別が分かり始めます。また、大きい・小さい・同じなどの概念が分かり、パズルや絵合わせなどもできるようになる時期です。

A 君は絵本に描かれている絵とフェルトが同じだと分かっている、自らフェルトを絵本に置いて遊んでいました。保育者が「絵本と同じだね」と伝えると他のフェルトも絵本に置いていました。

そんな A 君の自分で考え遊びを展開する姿に、保育者も思わず笑みがこぼれました。

きっずるーむではこのような子どもの成長を保護者に伝えながら、一緒に見守っていきたく思います。



11 月 7 日に山梨県高等学校芸術文化祭が開催されました。山梨県庁からスタートし、甲府市内の中心街でパレードが行われました。吹奏楽部やチアリーダー部などのパフォーマンスがあり、きっずるーむの子どもたちもパレードを見に行きました。

パフォーマンスを見た子どもたちは、驚いたり、不思議そうな顔をしたりしていました。楽器の生演奏を近くで聴くことやチアリーダー部のパフォーマンスを見られることはなかなかありません。とても貴重な時間を子ども達と一緒に過ごすことができ、とても良い経験になりました。